

国語問題（解答は全て解答番号【1】～【70】にマーカーせよ。）

1 次の傍線部の漢字の読みとして最も適当なものを、後の①～④のなかからそれぞれ一つずつ選べ。

- (1) 市井の人の声を聞く。【1】
 ① しい ② いちい ③ しせい ④ いちせい

- (2) 杜撰な計画。【2】
 ① とせん ② もりせん ③ とさん ④ ずさん

- (3) 追悼の挨拶を述べる。【3】
 ① おいたく ② ついとう ③ おいとう ④ ついたく

- (4) 煩惱から逃れられない。【4】
 ① はんおう ② はんのう ③ ほんのう ④ ほんおう

- (5) 莊嚴なただずまい。【5】
 ① そうげん ② そうごん ③ そうぎ ④ そうぎ

II 次の傍線部のカタカナに当てはまる漢字として最も適当なものを、後の①～⑤のなかからそれぞれ一つずつ選べ。

- (1) オシ健な人物。【6】
 ① 温 ② 穩 ③ 隱 ④ 音 ⑤ 恩

- (2) カイ心の笑み。【7】
 ① 快 ② 回 ③ 会 ④ 開 ⑤ 解

- (3) 奇ゾウな出会い。【8】
 ① 寓 ② 隅 ③ 遇 ④ 隅 ⑤ 宮

- (4) コウ紀肅正をする。【9】
 ① 剛 ② 綱 ③ 鋼 ④ 校 ⑤ 綱

- (5) ゼン後策を考える。【10】
 ① 善 ② 前 ③ 全 ④ 漸 ⑤ 然

III 次の外来語に対する言い換えとして最も適当なものを、後の①～④のなかからそれぞれ一つずつ選べ。ただし、同じ記号を二度用いてはならない。

- (1) エイイズム 【11】
 (2) カタルシス 【12】

- (3) プロセス 【13】
 (4) イデオロギー 【14】

- (5) リアリズム 【15】
 ① 精神的浄化作用

- ② 文章の段落 ③ 独断 ④ 根本的観念 ⑤ 思想傾向
 ⑥ 修辭字 ⑦ 写真主義・現実主義 ⑧ 利己主義 ⑨ 樂觀主義
 ⑩ 手順・方法

IV 次の設問は国語の一般常識を問うものである。各設問に対する答えとして最も適当なものを、後の①～④のなかからそれぞれ一つずつ選べ。

(1) 次の熟語のなかで、その構成が「主語と述語の関係」となっているものはどれか。【16】

- ① 軽視 ② 善意 ③ 地震 ④ 離陸

(2) 短歌「黒き鳥つゞでの如く落日の強き光を横切りて過ぐ」（岡本かの子）の波線部で用いられている修辭法はどれか。【17】

- ① 擬人法 ② 倒置法 ③ 省略法 ④ 直喩法

(3) 次の中で十一月の時候の挨拶に用いられる語句はどれか。【18】

- ① 初冬の候 ② 秋冷の候 ③ 晩秋の候 ④ 嚴寒の候

(4) 陰曆で月の異名が合致していないものはどれか。【19】

- ① 如月（二月） ② 水無月（六月） ③ 霜月（十月） ④ 卯月（四月）

(5) 「ひさかたの」という言葉と最も関係の深い語はどれか。【20】

- ① 旅 ② 光 ③ 家 ④ 母

V 次の空欄部に当てはまる語句として最も適当なものを、後の①～④の中から一つずつ選び、ことわざをそれぞれ完成せよ。

(1) 魚心あれば□□心。(相手の出方しだいでこちらにも応じ方があること。)

- ① 水 ② 海 ③ 人 ④ 戦

(2) 悪事□□里を走る。(悪いことは広まりやすいこと。)

- ① 十 ② 百 ③ 万 ④ 千

(3) 二階から□□。(思うように届かず、もどかしいこと。)

- ① 胃薬 ② 丸薬 ③ 目薬 ④ 貼薬

(4) 梅檀は□□より芳し。(大成する人は子どもの頃から優れたところがあるということ。)

- ① 種 ② 双葉 ③ 芽 ④ 茎

(5) もとの□□へ収まる(一旦仲違いした者が、再びもとの関係にもどること。)

- ① 場 ② 地 ③ 縁 ④ 鞘

VI 次の漢字の成り立ちとして最も適当なものを後の①～④の中からそれぞれ一つずつ選べ。

(1) 森

(2) 上

(3) 悲

(4) 鳴

(5) 鳥

① 象形文字

② 指事文字

③ 会意文字

④ 形声文字

VII 次の四字熟語に関する設問に答えよ。

〈ⅰ〉(1)～(4)の空欄部に当てはまる漢字として最も適当なものを、後の①～④の中から一つ選び、四字熟語をそれぞれ完成せよ。

(1) 五里□□中(物事に迷って思案に暮れること。)

【31】

- ① 夢 ② 無 ③ 霧 ④ 暗

(2) □□殺木訥(心が強く飾り気がなく口数が少ないさま。)

【32】

- ① 傲 ② 興 ③ 強 ④ 剛

(3) 海千□□千(世中の経験を積んで悪賢くなった人。)

【33】

- ① 山 ② 悪 ③ 世 ④ 空

(4) 意味□□長(言葉の底に深い意味の含まれていること。)

【34】

- ① 真 ② 深 ③ 信 ④ 伸

〈ⅱ〉次の四字熟語の組み合わせすべてが正しいものを、後の①～④の中から一つ選べ。

【35】

① 一朝一夕 — 佳人薄命 — 危機一発

② 機会均等 — 七転八到 — 公平無私

③ 三寒四温 — 奇想天外 — 換骨奪胎

④ 才色兼美 — 夏炬冬扇 — 我田引水

VIII 次の文章を読み、後の設問に答えよ。

人生といえはすぐ、まっすぐな線のように思い浮かべにくせから離れる必要がある。人生のある時期までは無垢で、ある時期から汚れだすという

はうである。ある時期までは幸福で、ある時期から不幸になるというのもうそである。だいたい、毎日がぜんぶ幸福、ぜんぶ不幸などというのは、

きこと□□aでやりきれないだろう。

勤勉というのはたしかに美德の一つではある。多くのひとが「ワーカホリック」(仕事中毒)といわれるまでに勤勉にはたらく。が、そのモチ

ベーションについては、がちがちの自己解釈を加えないほうがいい。たとえば、満ちたりた将来のためにいままでできるだけがんばっておこうという論

理、これは未来の幸福のために現在をどうもなく貧しくする論理である。そのような論理にしたがつて生きるひとは、老いれれば老いで、今日

じぶんがあるのは……と過去をふりかえるのだろう。つまり過去の努力の延長線上にいまのじぶんを設定するのだろう。いってみれば、じぶんを過去

の「ジッゼキ」から逃げられなくするのだ。

A

でもどうして、わたしたちはいつも同じ線の上にはいけなくてはいけないのだろうか。同一のシナリオの枠内にいなければならないのだろうか。同一の存在

でいなければならないというこのキョウハク観念が、わたしたちをしばしばひどい□□bに駆りだてる。

不安。それはつねに、未来を思い描く想像力と切り離しがたく存在する。たとえば、若いひとが老いということを思い描くとき、不安という気分よ

りもむしる唾棄したい気分なのだろう。たとえばじぶんより一、三歳上のひとを「おほさん」と呼ぶ。高校生が大学生を、中学生が高校生を、である。

じぶんが「三年でその歳になるその年齢のひとを『おばさん』と呼び棄てるのである。これはすぐやってくるじぶんの未来に **C**」しているし以外のなものでもない。そのアグレッシヴなクチャヨウにもかわらず、暗い現在だ。そこでは、なにかになりたいというそのイメージを欠いたまま、いまのじぶんから抜けたすこと、別のじぶんになることを希望するしかない。

では、満ちたりた老いらくというの、明るい現在だろうか。右でみたように、老いの充実というのは、多くの場合、過去の栄光の記憶のつかっている。あのときがんばっておいたから、いまこうしていられる……。『幸福な老年』とは、いままでのじぶんの業績に満足している状態である。つまり、過去の記憶とそこから生じた財によっかって生きていくことである。ということ、別の生きかたというものをあらかじめ封じ込める生きかたのことである。それはすでに確定した過去の延長線上でなりたつ現在であり、したがってこの充実した老いはますます限定された狭い世界に入っていく。変化すること、存在がめくれることをみずからに禁じるような生きかたである。

これまたもう一つの貧しさではないか。フアッションというのが、記憶を断つて、たえず一から、いやせロからやりなおすこと、社会から与えられたアイデンティティの衣を脱いでつきつぎとアイデンティティのステージを変えていくような生きかた、つねにときめいた生きかたというものを意味するとすれば、**C**「こうした満ちたりた老いこそ、フアッションのときめきからはもっとも速い生活だといわねばなるまい。」

隠居というカンシユウがリタイアするといよりむしろアイデンティティの別のステージへの乗り換えを意味したように、つまり隠居とはなにもしなくなるということではなく、別のことを開始するということだ。あるいは改名のカンシユウというものがひとには生涯複数のアイデンティティがあつて当然だとみなす社会のそれであつたように、アイデンティティが単一である、というコナイ観念こそが、この生活はくずれるのではないか、つまりは「わたしがこれらではないか」といった不安を煽ることになっているのではないか。

(驚田清一『じぶん・この不思議な存在』)

(1) 傍線部 (ア) ～ (オ) のカタカナ部分に当たる漢字として最も適当なものを、後の①～⑤のなかからそれぞれ一つずつ選べ。解答欄は、(ア)

【36】 (イ) 【37】 (ウ) 【38】 (エ) 【39】 (オ) 【40】

- | | | | | | |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| (ア) ジツセキ | ① 積 | ② 席 | ③ 責 | ④ 績 | ⑤ 寂 |
| (イ) キヨウハク | ① 強 | ② 教 | ③ 脅 | ④ 興 | ⑤ 競 |
| (ウ) クチヨウ | ① 長 | ② 帳 | ③ 潮 | ④ 兆 | ⑤ 調 |
| (エ) カンシユウ | ① 刊 | ② 慣 | ③ 簡 | ④ 関 | ⑤ 監 |
| (オ) コナイ | ① 孤 | ② 戸 | ③ 固 | ④ 個 | ⑤ 弧 |

(2) 二重傍線部 (エ)・(イ) の品詞として最も適当なものを、後の①～⑤のなかからそれぞれ一つずつ選べ。ただし、同じ記号を二度用いてはならない。解答欄は、aは【43】、bは【44】、cは【45】

- ① 名詞 ② 動詞 ③ 形容詞 ④ 助詞 ⑤ 助動詞

(3) 空欄部 a～cに当てはまる最も適当な語句を、後の①～⑤のなかからそれぞれ一つずつ選べ。ただし、同じ記号を二度用いてはならない。解答欄は、aは【43】、bは【44】、cは【45】

- ① 充実 ② 絶望 ③ 不安 ④ たくつ ⑤ 満足

(4) 傍線部 A「同じ線」とあるが、それはどのようなことか。最も適当なものを、後の①～④のなかから一つ選べ。【46】

- ① 老いてからも若いころと同じように考え行動しようとする生き方。
 ② 生涯一貫して勤勉な生き方。
 ③ 過去の生き方が未来に反映するといった考え方。
 ④ 現在の充実した生き方が将来の新しい生き方を生み出すという考え方。

(5) 傍線部 B「幸福な老年」にかきかつてが施してあるのはなぜか。その理由の説明として最も適当なものを、後の①～④のなかから一つ選べ。

- ① この段落で説明されているテーマであることを強調するため。
 ② 筆者の考える幸福な老年ではないことを示すため。
 ③ 不幸な老年との対比を明確にするため。
 ④ 筆者の考える幸福な老年そのものであることを示すため。

【47】

(6) 傍線部 C「こうした満ちたりた老い」とあるが、ここで老年を「満ちたりた」ものとして実感させるものはなにか。その説明として最も適当なものを、後の①～④の中から一つ選べ。【48】

- ① 過去の栄光の記憶。
 ② 過去の努力によって生じた財。
 ③ 日々のやりがい。
 ④ 過去の記憶とそこから生じる財。

(7) 傍線部D「わたし」が「わたし」が「わたし」とはど

のようなことか。その説明として最も適当なものを、後の①～④の中から一つ選べ。【49】

- ① これまで保持してきたアイデンティティがなくなってしまうのではないかとということ。
- ② わたしの生活様式が変化して今まで通り生活できなくなるのではないかとということ。
- ③ わたしが精神的に立ち直れない状態に陥るのではないかとということ。
- ④ 穏やかな何もしなくてよい隠居生活が奪われるのではないかとということ。

(8) 本文の内容と合致するものを、後の①～④の中から一つ選べ。【50】

- ① 幸福な老年のために今を充実させるべきだ。
- ② 一貫したアイデンティティを保持することが必要だ。
- ③ アイデンティティは単一ではなく複数ある。
- ④ 人生は同一のシナリオを生きているということだ。

IX 次のa～iの俳句や短歌を鑑賞し、各設問の答えとして最も適当なものを、後の①～④の中からそれぞれ一つずつ選べ。

- a 咳をしても一人（尾崎放哉）
- b 冬峰の死にどころなく歩行きけり（村上鬼城）
- c 曼珠沙華抱くほどれど母恋し（中村汀女）
- d 眼にあてて海が透くなり桜貝（松本たかし）
- e 瀧落ちて群青世界とどろけり（水原秋桜子）
- f 垂乳根の母が釣りたる青蚊帳をすがしといねつたるみたれども（い）
- g ゆく秋の大和の国の薬師寺の塔の上なる一ひらの雲（ろ）
- h やはらかに柳あをめる
北上の岸辺目に見ゆ
- i 死に近き母に添寝のしんしんと遠田のかはつ天に聞ゆる（斉藤茂吉）

(1) 空欄(い)～(は)に当てはまる作者名をそれぞれ一つずつ選べ。ただし、同じ記号を二度用いてはならない。【51】(ろ)は

【52】(は)は

- ① 石川啄木
- ② 長塚節
- ③ 佐々木信綱
- ④ 与謝野晶子

(2) 尾崎放哉の俳句aの特色は何か。【54】

- ① 定型俳句
- ② 有季俳句
- ③ 客観写生
- ④ 自由律俳句

(3) 斉藤茂吉の短歌iが収められている第一歌集は何か。【55】

- ① 心の花
- ② 赤光
- ③ 悲しき玩具
- ④ 若菜集

(4) 次のア～オの解説に当てはまる俳句として最も適当なものを、後の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。ただし、同じ記号を二度用いてはならない。

ア 子としての思いを埋め尽くせない姿が秋の風景のなかに立ちあがっている。【56】

イ 描かれているものの向こうに広大な広がりを感じられる春の句である。【57】

ウ 取り囲む青葉の木々のなかで繰り広げられる躍動感のある視覚にも聴覚にも訴える句である。【58】

エ 心配してくれる人のいない孤独をしみじみと感じさせる句である。【59】

オ 弱り切った対象に作者は自分の姿を見たのだろう。【60】

- ① a
- ② b
- ③ c
- ④ d
- ⑤ e

X 次の近代・現代文学に関する記述を読み、各設問に対する答えとして最も適当なものを、後の①～④の中からそれぞれ一つずつ選べ。

(1) プロレタリア文学の最高水準を示す作品で、階級意識に目覚めた労働者たちを描く小林多喜二の小説は何か。【61】

- ① セメント樽の中の手紙
- ② 風立ちぬ
- ③ 黒い雨
- ④ 蟹工船

(2) 知識人の自意識の痛みをテーマに強い自負心をもつ芸術家の苦悩を描いた「山月記」の作者は誰か。【62】

- ① 中島敦
- ② 島木健作
- ③ 伊藤整
- ④ 石川淳

(3) 当時社会を驚かせた青年僧の放火を題材に美に対する憧憬と憎悪を描く作品は有名で、作者の自殺もまた自らの美学に殉じたものとも言われている作者は誰か。【63】

- ① 村上春樹
- ② 阿部公房
- ③ 井上靖
- ④ 三島由紀夫

(4) 次の文学作品の冒頭部分A～Cを読み、後の〈i〉、〈ii〉の設問に答えよ。

A 朝、食堂でスウプを一口、すつと吸ってお母様が、「あ」と幽かな叫び声をお挙げになった。

B 国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。

C 親譲りの無鉄砲で子供の時から損ばかりしている。

〈i〉冒頭部分がA～Cで始まる作品として最も適当なものを、後の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選ぶ。ただし、同じ記号を二度用いてはならない。解答欄は、A【64】、B【65】、C【66】。

- ① 雪国 ② たけくらべ ③ 斜陽 ④ 坊ちゃん ⑤ 舞姫

〈ii〉冒頭部分がA～Cの作品の作者は誰か。最も適当なものを、後の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選ぶ。ただし、同じ記号を二度用いてはならない。解答欄は、A【67】、B【68】、C【69】。

- ① 夏目漱石 ② 太宰治 ③ 大岡昇平 ④ 川端康成 ⑤ 北杜夫

(5) 次の文学作品のなかで森鷗外以外の作品だけを選んであるものはどれか。後の①～④のなかから最も適当なものを一つ選ぶ。【70】

- ① ザイゴンの妻 — 雁 — 富嶽百景 ② 阿部一族 — 山椒大夫 — 高瀬舟
③ 渋江抽斎 — 安井夫人 — こころ ④ 青年 — 即興詩人 — 田舎教師

一般入試 後期 国語 解答

問 題	解 答
1	3
2	4
3	2
4	3
5	2
6	2
7	3
8	3
9	5
10	1
11	8
12	1
13	0
14	5
15	7
16	3
17	4
18	3
19	3
20	2
21	1
22	4
23	3
24	2
25	4
26	3
27	2
28	4
29	3
30	1
31	3
32	4
33	1
34	2
35	3

問 題	解 答
36	4
37	1
38	5
39	2
40	3
41	3
42	4
43	4
44	3
45	2
46	3
47	2
48	4
49	1
50	3
51	2
52	3
53	1
54	4
55	2
56	3
57	4
58	5
59	1
60	2
61	4
62	1
63	4
64	3
65	1
66	4
67	2
68	4
69	1
70	2